

## JSCM Most Accessed Review Award

総会受賞年 アクセス統計年	受賞者	所属	タイトル (掲載)
2011年(H23) 2010	神谷秀博 飯島志行	東京農工大学 大学院 生物システム応用科学府	ナノ粒子の分散・凝集挙動の評価と制御(ナノテクノロジー講座) J. Jpn. Soc. Colour MaterD6:D4282[5], 214-218(2009)
2012年(H24) 2011	橋本 勲	カラーオフィス(株)	顔料の安全な使用と法規制(最新顔料講座) J. Jpn. Soc. Colour Mater., 83[8], 337-345(2010)
2013年(H25) 2012	福井 寛	福井技術士事務所	粉体の表面処理(最新化粧品・ヘルスケア講座) J. Jpn. Soc. Colour Mater., 84[11], 386-392(2011)
2014年(H26) 2013	鷲見卓也 堀越 智	東京理科大学理工学研究科 上智大学理工学部	マイクロ波加熱を利用したナノ粒子合成の特徴(総説) J. Jpn. Soc. Colour Mater., 85[8], 327-338(2012)
2015年(H27) 2014	蓮沼 裕也 落合 晃	桐蔭横浜大学 医用工学部 生命医用工学	臨床微生物検査における色素および呈色反応(小特集-機能性色素が生み出した新しい色素-) J. Jpn. Soc. Colour Mater., 86[6], 217-224(2013)
2016年(H28) 2015	南 秀人 常 誠 鈴木 登代子	神戸大学 大学院 工学研究科	水素結合を利用した有機/無機複合粒子の作製(解説) J. Jpn. Soc. Colour Mater., 87[10], 356-360(2014)
2017年(H29) 2016	溝上 陽子	千葉大学大学院融合科学研究科	色覚の感度特性に基づく色表現と色覚メカニズムの環境適応性(光と色彩講座) J. Jpn. Soc. Colour Mater., 88[10], 361-366(2015)
2018年(H30) 2017	森川 和則	大阪大学大学院人間科学研究科	視覚の心理学:日常に潜む錯覚・錯視の研究(解説) J. Jpn. Soc. Colour Mater., 89[10], 11-16(2016)
2019年(H31) 2018	柴田 雅史	東京工科大学応用生物学部	化粧品で用いられる油性ゲルの物性とその持続性向上技術 J. Jpn. Soc. Colour Mater.,90[10], 349-353(2017)

2020年(R2) 2019	本同宏成 上野聡	広島大学大学院生物圏科学研究科	チョコレートにおける油脂の結晶制御と物性 J. Jpn. Soc. Colour Mater.,91[2], 58-62 (2018)
2021年(R3) 2020	福井 寛	福井技術士事務所	化粧品用粉体の表面をデザインする J. Jpn. Soc. Colour Mater.92[11],311-318(2019).
2022年(R4) 2021	山下 裕司	千葉科学大学薬学部	化粧品分野における界面活性剤の新展開 J. Jpn. Soc. Colour Mater., 93[3],84-90(2020).
2023年(R5) 2022	岩田 忠久	東京大学	生分解性プラスチックの高性能化と将来展望 J. Jpn. Soc. Colour Mater., 94[6],164-168(2021).
2024年(R6) 2023	吉川 拓伸	資生堂インタラクティブビューティーDX本部	化粧品の色彩とDX J. Jpn. Soc. Colour Mater., 95[6],156-159(2022).
2025年(R7) 2024	村上 拓郎	(国研)産業技術総合研究所	ペロブスカイト太陽電池の基礎と将来展望 J. Jpn. Soc. Colour Mater., 96[9],324-329(2023).
2026年(R8) 2025	宇山 允人 山下 裕司	株式会社資生堂 神奈川大学	化粧品における乳化の基礎 J. Jpn. Soc. Colour Mater., 97[4],119-123(2024).